

9. 前市長に対する業績評価・多選についての考え方

問7 あなたは、寺田 前市長の3期12年の業績をどのように評価しますか。この中から一つ選んでマルを付けてください。

		%	有効%
(ア)大いに評価できる	16	2.0	2.0
(イ)大いに評価できる	173	21.3	21.7
(ウ)どちらともいえない	298	36.6	37.4
(エ)あまり評価できない	219	26.9	27.5
(オ)全く評価できない	91	11.2	11.4
有効回答数	797	97.9	100.0
無回答 他	17	2.1	
合計	814	100.0	

問8 あなたは、一人の人が四期以上、知事や市町村長を続けることについてどう思いますか。この中から一つ選んでマルを付けてください。

		%	有効%
(ア)大いに問題である	183	22.5	22.8
(イ)やや問題である	275	33.8	34.2
(ウ)どちらともいえない	231	28.4	28.8
(エ)あまり問題ない	90	11.1	11.2
(オ)全く問題ない	24	2.9	3.0
有効回答数	803	98.6	100.0
無回答 他	11	1.4	
合計	814	100.0	

これら2つの設問は、市長選挙で判断基準となるようなことが、住民投票の投票行動にも影響したのではないかと考え、設けたものである。予想どおり、前市長への業績評価が低く、また知事や市町村長の多選を問題視する人ほど、市長選では新人の阪口候補に投票したと答えているが、それだけでなく、そうした考え方の人ほど、住民投票でも合併反対票を投じる傾向が強かったことが明らかとなった。この点から見ても、2つの投票の結びつきは大きなものだったと言えそうである。